
おしどり夫婦

ナイトバロン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

おしどり夫婦

【Nコード】

N3817F

【作者名】

ナイトバロン

【あらすじ】

新一×蘭の恋愛物。公園デートをする新一と蘭。しかし……。

六月。柔らかな陽光が降り注ぐ日曜の米花公園は、家族連れやカ
ップルでそこそこ賑わいを見せている。他にも、ベンチで新聞を讀
む老人や、犬の散歩をする主婦など、実に和やかな雰囲気だ。

心地よい飛沫をたてる噴水の前に、一人の少女が立っている。彼
女の名前は毛利蘭。年は十四歳、中学二年生だ。彼女は、しきりに
時計を気にしては、ポーチから手鏡を取り出して前髪をチェックし
ている。

蘭は、ある男の子と待ち合わせをしていた。その男の子の名は工
藤新一。蘭と同じ十四歳で、幼馴染という間柄だ。しかし、蘭は新
一のことを、ただの幼馴染だとは思っていない。蘭の人生において、
かけがえのない異性として、彼に想いを寄せている。ようするに、
彼女は恋をしているのだ。

適当に公園内を見回していた蘭の顔が一瞬明るくなったかと思っ
と、それを恥じるかのように真顔を保とうとする。待ち合わせ場所
に新一が到着した。時間に遅れそうになり走ってきたのか、額に薄
らと汗を浮かべ、膝に手をつけて肩で息をしている。

蘭が新一にハンカチを渡し、二人で小さなベンチに腰掛ける。楽
しげに談笑する二人、どこから見てもお似合いの二人だ。さすが、
クラスで「夫婦」と呼ばれるだけのことはある。

やはり、新一も蘭に恋をしていた。そんなことは、普段の二人を
見ていれればすぐにわかる。気づいていないのは、当の本人の蘭くら
いだろう。

二人は両思い。でも、素直になれずにお互い想いを打ち明けられ
ずにいる。そんなもどかしくて、ちよっぴり切ない二人。彼らの恋
物語が花開くのはいつのことになるのやら……。

突然、すっと立ち上がる新一。とっさのことで、蘭は訝しがって
いる。そして、新一の視線と私の視線がぶつかった。

……見つかった。

「園子、お前こんなところでなにやってんだ！」

「あ、あははは。ばれちゃった？」

「そんな怪しい格好してたら、誰だつて怪しむっつーの」

今日の私のファッションは、顔の半分を隠してしまいそうなサン
グラス、トレンチコート、尾行の必須アイテム新聞紙！ ……ちよ
つとやりすぎたかしら。

「もう園子ったら。私たちを尾行してどうするつもりだったのよ」

「『おしどり夫婦の一日！』って題で学級新聞を作ろうと思つてね」
待ち合わせ風景を描写したノートを顔の前でひらひらさせ「ほらあ、
私たちも、色恋沙汰が気になるお年頃なのよ」

「なっ！」

顔を真っ赤にして二人同時に絶句。

「ささ、私のことは気にせず、デート続けて、続けて」

「園子ー！」

おわり

(後書き)

初めて二次小説というものを書いてみました。といっても、小説自体これで3作品目くらいです。楽しんでいただけただけでしょうか？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3817f/>

おしどり夫婦

2010年10月21日22時52分発行